

# 幼児理解にはじまる保育シリーズ

## ●このシリーズを活用していただくために●

監修 文部科学省初等中等教育局 幼児教育課

このビデオは、幼稚園生活の中で新任の先生が幼児とかかわる姿をありのままに記録したもの。新しく幼稚園教員になられた方々がこのビデオシリーズを活用し、幼児理解を深め、幼児一人一人に応じる保育の基本について考え合い、実践力を高めることを目的として制作されている。映像に映し出される幼児一人一人の表情や言葉、動きなどから、幼児の思いや願いを捉え、幼児理解を深める教材として、わかりやすく編集されている。

### ① 3歳児の世界

3歳児 23分



### ② せんせい だいすき

4歳児 20分



### ③ ぎゅうにゅう できたよ

～子どもの思い・先生の願い～

4歳児 22分



### ④ 友だちと出会う

4歳児 22分



### ⑤ いっしょにやろうよ

～伝え合う気持ち・5歳児

5歳児 35分



価格 各巻 16,500円(税抜15,000円)  
全5巻 82,500円(税抜75,000円)

【企画・制作】岩波映像株式会社  
【著作・販売】株式会社サン・エデュケーションル  
個人貸出／館内・館外無料上映／団体貸出可

## ●新規採用教員の方々へ●

保育を展開する中で、活動の状況は見えても、幼児一人一人がどのように感じ、どのような気持ちや思いを抱いているのか、その内面に何が起こり、どのように乗り越え、何が身に付いていくかなど、一人一人が育っていく過程は見えにくいものです。教師は幼児と生活を共にする中で、その幼児らしい行動の仕方や考え方を理解して、それぞれに応じた指導をおこなうことが大切です。

しかし、こうした幼児の内面の理解は、はじめからできるものではありません。保育の中で出会うできごとをその都度取り上げ、幼児の気持ちについて、先輩や同僚と話し合う中で少しずつ磨かれていくものです。

このシリーズは新しく幼稚園教員になった方々が、幼児の内面を理解する力を身に付けることを目的として編集されています。

## 幼児理解にはじまる保育シリーズ

### 1. 3歳児の世界

3歳児 23分 2002 IWE001D

【ひとりじめしたいの?それとも思いやり?】カブトムシのまわりに幼児たちが集まってきて、そのうち取り合いが始まってしまった。【友だちってなあに?友だちと一緒に楽しい?】たくさんの友だちや先生が乗っている電車ごっこ。先生が降りると次々と友だちが降りてしまうが、最後に残ったシリウは初めての運転席に満足そうだ。【一人一人のこだわりはどこまでつきあうの?】みんなで年中組の御輿で遊び始めたのだが、マサタカは、何か気に入らない様子。なぜかわからないが、頑として譲らない。何にこだわり、何を主張しているのか、こんな時どのような援助があれば納得するのだろうか。【一人一人のリズムと園生活】シリウは、お弁当を食べ終わると、さっそく帰りの支度を始めてしまう。一人一人の生活のリズムを大切にして、少しずつみんなと一緒に生活を楽しむようにしたいものだ。

### 2. せんせい だいすき

4歳児 20分 2003 IWE002D

【アカリちゃん ありがとう】教師の何気ない一言で、アカリは動き出す。アカリの心の中では、どんな動きがあったのだろうか?【甘えたいの? それとも…】トモチカは、先生が大好き。でも一緒に遊びたいという気持ちをうまく表現することができなくて、泥だらけの手で先生を追いかける。先生はトモチカの気持ちは理解しつつも、ダメなことはしっかりと伝えたいと思う。【お靴をとりに入れてください?】みんなと楽しく充実した園生活をおくるためには守らなければならない約束がある。幼児が気づいていくためには、教師のどのようなかわりが必要だろうか。【先に いただきます していいからね】ナオは、お弁当の時間に、先生の隣に自分の席をつくり、座ってくれるのを待っている。ナオはなぜいつも先生を待っているのだろうか。

### 3. ぎゅうにゅう できたよ 一子どもの思い・先生の願い一

4歳児 22分 2004 IWE003D

【メガネつろうよ】先生は初めてセロファンと筒を出してみた。幼児たちはおそらくメガネを作るだろうと予想していたが、モモは牛乳瓶をたくさん作った。こんな時にどんなふうに応えたらよかったのだろうか。【みんなできれいにしよう】そろそろ片づけの時間だがモモたちは片づけようとしないう。こんな時どうしたらいいのだろうか。「先生や友達と一緒に生活をつくる」という視点から、考えてみよう。【みんなの顔をかいてほしいんだけど】先生は、本当は自分の顔を描いてほしいと思うのだが、ルイには伝わらなかったようだ。どう言ったら先生の意図がルイに伝わったのだろうか。【修理してたの?】ルイは望遠鏡作りに夢中。保育室に戻ってきたのだが、何となく様子がおかしい。「修理してたの?」と話しかけてみると、ルイの表情や動きが少しずつ変わってきた。——先生は保育記録を書きながら、改めて子どもの思いと自分の願いとのズレに気付かされた。

### 4. 友達と出会う

4歳児 22分 2005 IWE004D

【6まいもってる すごいだろう】同じ武器をいくつも作りたがるダイスケは友だちに見せて何を伝えようとしているのか。ダイスケの思いにそって考えてみよう。【かわいいひとは はいれない】リナのシャボン玉をこわしたり、ヒロキを仲間にするのを拒むダイスケに、先生は友だちの嫌な気持ちを分かってほしいのだが、なかなか理解してもらえない。彼らの表情やことばから、教師がどのようにかわればいいのかを考えてみよう。【やろか ふたりで】いろいろな友だちと出会ってほしくて、二人乗りのフープの電車を用意したのだが、ユウダイはどうしてもアツシと一緒にいいようだ。思いの違う二人をどう受け止めたらいいいのだろうか。【みどりのぬま つくってみる】スマレとダイスケはカメのお家を作ったが、スマレはすぐに行ってしまった。一人一人がイメージを出しながら一緒に遊びを楽しむためには、どんなかわりが必要なのだろうか。

### 5. いっしょにやろうよ ~伝え合う気持ち・5歳児

5歳児 35分 2006 IWE005D

【子ども会で人形劇をしよう】子ども会に向けた人形作り。先に出来上がり、次に遠足バスを作り始めたサワちゃんたち。一方、人形作りが進まないハルカちゃん。一人一人の思いに教師はどう応じていけばよいのだろう。【遠足バスはどこに行くの】劇の練習がはじまり、先生のアドバイスで物語の展開がすこしずつはっきりしてきた。グループの仲間がひとつの目的に向かって遊びをすすめるとき、一人一人の思いをどのようにつなげていけばよいのだろう。【お客さんを読んできたら】子ども会を想定して、練習をお客に見せるか見せないかで意見が対立、サワちゃんは途中で練習をやめてしまった。ところがハルカちゃんがお客を集めてきたことで、サワちゃんたちは大慌て。一人一人の幼児の思いにずれがあるとき、幼児たちはどのように乗り越えていくのだろうか。【どうしてハルカちゃんやらないの】子ども会まで1週間。みんなで動物園の看板を描くことになったが、ハルカちゃんだけは一緒に場にいらない。そのことをサワちゃんたちに言われて泣き出す。幼児同士がぶつかり合う気持ちを教師はどのように受け止めたらいいいのか。教師のかかわりが、幼児の言動にどのような変化をもたらしているのか考えてみよう。

